

どう考える？ くすぶる？土地購入問題 名古屋保育短大跡地購入のこと

11月16日（土）、
渋谷福祉センターで
開かれた市議会報告
会の懇談・意見交換
において、参加者か
ら、名古屋保育短大
跡地の購入について、
議会で説明を迫られ
る一幕がありました。

購入理由は「安い」 からではない

もし金額について
安い。ということに
なれば、土地を売っ
た名古屋市の立場は
ありません。尾張旭
市と名古屋市中で協議
した結果、算出した
金額です。

土地の規模から言
えば動いた金額は安
価に見えますが、土
地をとおうと思うと、
敷地内にある建物を
取り壊すなどの費用
が発生し、それも折
り込んで値段を決め
たということです。

数回の問答を繰り
返しましたがスッキ
リした回答になっ
ていなかった印象です。
この土地購入につい
て、議会はどうのよう

尾張旭市にとって、
まとまった一団の土
地が、老朽化してき
た市内公共施設の建
替え用地として魅力
的だった。可能性は
低いとしても民間に
売却された場合に起
こりえる問題も尾張
旭市は懸念した。と
いうことです。

市が土地購入を決
断した背景には学校
給食センターの建替
えについて、用地の
確保に長期間苦しん
だこともあると思っ
ます。

学校給食センター
建替えの課題は、約
20年前からの議論で
すが、ようやく新給
食センターが稼働で
きたのは3年前です。

尾張旭市では今後
多くの公共施設の建
替え問題が出てくる
と予想されますが、
その絵を描こうにも
土地の確保の問題か

ら始めていては動きづら
い状況になります。そう
した将来展望の中での土
地購入だと考えれば良い
と思います。

計画はこれから

土地を購入したとして
も、すぐにその土地に建
物を建てて使おうとい
うことにはなりません。
その土地に何をやるのかは、
これから計画をやること
になっています。

市は来年2月に、購入
した土地の見学会を企画
しており、参加者から今
後の土地利用について、
暫定利用も含めて意見を
募る意向です。



「使用禁止」のテープでグルグル巻き（小幡緑地）
テープも色あせ、いつからこんな状態かと思うほど

県も市も維持管理費 を増やして

先日、守山区にある小
幡緑地管理事務所を訪ね、
尾張旭市西北部にある小
幡緑地東園の維持管理に
ついて、お話をうかがっ
てきました。

春先より、小幡緑地に
隣接する地域の方から、
木が大きくなりすぎてい
て伐採して欲しい。家の
裏の草が長らく伸び放題
で困っているなどの話を
お聞きし、その都度、市
を通じて対応してきたの
ですが、対応に疑問に思
うこともあったり、小幡
緑地へ遊びに行った方か
らは、使用禁止となっ
ている遊具がかなり多数あ
るなどの話も聞いていた
ので、一度訪問してみる
ことにしたのです。

樹木の剪定や草刈りの 対応について、お話を述 べた上で、草刈りについ ては毎年行われていない ようだという疑問を投げ げると、ここまでは毎年や っているが、その奥は全く

行っていない。毎年
やるようにしたいとの返
事をいただきました。

遊具については、春先
に他の県営公園（訪問後
調べたら木曽川祖父江公
園のこと）で事故があり、
遊具の一斉点検が行われ、
基準も厳しくなり現在使
用禁止としているが、小
幡緑地公園西端の児童園
の遊具については、年度
内にリニューアルされる
とのことでした。

他の公園の事故をき
かけに全県的に公園の遊
具を点検し、対応するこ
とになったのですが、遊
具がそれだけ傷むまで手
がでなかったことは、こ
れまでの県の姿勢に疑問
を感じてしまいます。

尾張旭市では公園の遊
具の点検は市が年2回、
PTAなどによりさらに
1回行われていますが、
公園の時計が壊れていて
も、すぐに直せる維持管
理費は無い状態です。
維持管理費用をもっと
用意する時代になってい
ます。